

平成30年度 こんな学校をめざします

子どもの実態から

- 素直で優しい
- よく働く
- 体を動かすことを好む
- ・自己肯定感が低い
- ・自主性の育成が課題

保護者の願い

- 思いやりのある子
- 場に応じた言葉づかいやあいさつのできる子に

地域の願い

- 地域と積極的に関わり行事に進んで参加する子に

教育理念 共に学び 明日をつくる図南の子

学校教育目標 **明るく やさしく たくましい子**

努力目標

自ら考え、学び合う子

思いやりをもって行動する子

めあてをもって
体づくりをする子



「新しい自分にチャレンジ!」「本となかよし!」「太陽となかよし!」

【めざす子どもの姿】

- ・夢や志をもつ子ども
- ・元気なあいさつと返事をする子ども
- ・自らを顧み、よりよい自分をめざして最後まで努力する子ども
- ・感謝と思いやりの心を持ち、みんなのために進んで貢献する子ども
- ・命を大切にする子ども
- ・汗を流して働く子ども

【重点的施策】

- ◎授業の充実
- ◎心の通い合う教育の充実
- ◎体育、健康教育の充実
- ◎キャリア教育の推進
- ◎情報教育の推進

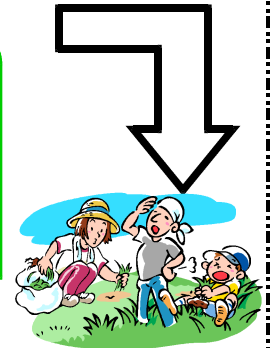
PLAN

学校目標

「進んで考え、共に学び合う力の育成」

学校目標達成のための重点施策

- ◇ 「見方、考え方」を働かせた協働的な学びのある授業
- ◇ 地域貢献の意識を育む総合的な学習の実施（教科横断的な学び）
- ◇ クラスブックトークの計画的実施



学校と家庭が連携して取り組む3つの実践

学力の向上

- ・家庭学習の習慣化
(学年数×10分間+10分)
- ・漢字・計算、満点に挑戦!
- ・親子ふれあい読書

感謝と思いやりの心

- ・心のこもったあいさつ
- ・ふわふわ言葉を使う
- ・チョボラ
- ・図南小親子会議

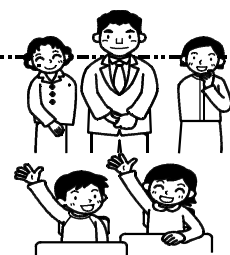
健康な体

- ・早寝、早起き、朝ご飯
- ・外遊びの奨励
- ・食育

地域密着型教育の推進
(地域学校連携協議会)

CHECK

(学校評価アンケートによる自己評価
及び学校関係者評価)



ACTION
(改善・手立て)

DO
(活動の推進)

総合的な学習

探究的な見方・考え方

⇒ 各教科における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続ける

※ 社会で生きて働く資質・能力を育成する上で、教科等の学習と教科等横断的な学習を往還することが重要。

生活

「見方・考え方」

⇒ 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりでとらえ、比較・分類・関連付け・試行・予測・工夫することを通して、自分自身や自分の生活について考えること。

社会

「見方」⇒ ・位置や空間的な広がり
・時期や時間的経過
・事象や人々の相互関係

「考え方」⇒ ・比較する
・分類する
・関連づける
・総合する

算数

「見方・考え方」⇒ 数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的・総合的・発展的に考えること

(方法) ⇒ 問題解決の手順、見通し、考察、簡潔明瞭的確に表現、振り返り

※ 教えて理解させ定着させるからの脱却！

理科

「見方」⇒ ・量的・関係的な視点（エネルギー）
・質的・実体的な視点（粒子）
・多様性と共通性の視点（生命）
・時間的・空間的視点（地球）

「考え方」⇒ ・比較する（3年）
・関係付ける（4年）
・条件を制御する（5年）
・多面的に考える（6年）

国語

目標 ⇒ 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で性格に理解し適切に表現する資質能力を育成する。

言葉による見方・考え方とは ⇒ 事象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高める。

国語の思考・判断・表現力 ⇒ 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。その内容は、Aはなすこと、きくこと、B書くこと、C読むこと ※右表参考